

神奈川県議会議員

つなしま 洋一

Kanagawa

県政報告

「神奈川県議会 令和7年 第3回定例会 本会議」にて代表質問をいたしましたので、質問や答弁等の内容を一部編集し、県政報告として皆さまにお届けさせていただきます。



三期目の神奈川県議会議員として、県民の皆さまから寄せられるご意見やご要望等を丁寧にお聴きし、県内のさまざまな問題や課題等へ真摯に取り組む県政へと反映させてまいります。これからも、皆さまのご期待に応えられるよう一層の努力を重ねてまいりますので、引き続きご支援をいただき、政治活動へのご理解を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

つなしま 洋一
早春のつどい
開催のお知らせ

開催日時 令和**8**年**2**月**15**日(日) **11:00**～
(受付10:30～)

開催場所 綾瀬市オーエンス
文化会館 小ホール
(深谷中1丁目3-1)

会 費 **3,000 円**

裏面に「受付票」がございます。
ご記入の上、ご参加ください。

1

物価高騰対策を始めとした今後の予算編成について

質 問

現在の物価動向について総務省が公表している消費者物価指数では、前年同月比で2%～3%増となる月が継続している等、依然として高い水準であり、県民や事業者を取り巻く環境は厳しい状況が続いている。本県では令和4年度以降、国の交付金を活用する等して医療機関や福祉施設を始め、農林水産業や公衆浴場、運輸事業者等、幅広い業種に対し光熱費や燃料費等の支援を行うとともに、中小企業者の資金繰り支援等を講じてきたものと承知しているが、県としても引き続き重点支援地方交付金を活用し、国の新たな総合経済対策と連動して対策を講じるべきだと考える。来年度当初予算については9月に編成方針が策定され、調整を進めていると承知しているが、本県の財政構造は義務的経費の割合が8割程度と高く、硬直的財政状況が続く中、物価高騰対策を始めとした、県民生活に直結する喫緊の課題に的確に対応するため、今後どのように予算編成を進めていくのか見解を伺う。

県 知 事

答 弁

県では、これまで国の重点支援地方交付金を活用し、様々な業種に対して光熱費支援等の物価高騰対策を実施してきたところである。こうした中、国の経済対策において交付金拡充が示されたことから、今後は支援策を速やかに検討し、補正予算編成を進めていく。また、物価高を乗り越えるためには物価上昇を上回る持続的賃金上昇が必要であり、来年度当初予算では中小企業生産性向上の取り組みを継続的に実施していきたいと考えている。こうした物価高騰対策を始め、本県を取り巻く喫緊の課題に的確に対応する予算を編成するため、地方一般財源総額確保や自治体間税収偏在是正等を国に働きかける他、国庫補助金や寄附金獲得等に引き続き取り組む。成果検証による事業見直しを徹底し、優先順位を見極める等、限られた財源の中でメリハリをつけた予算編成をしっかりと行っていく。

2

「GREEN×EXPO 2027」神奈川県出展について

質問

県知事

答弁

「神奈川県出展基本構想」では、「いのち輝く Vibrant INOCHI（バイブラント いのち）」を出展メインテーマに掲げ、さらに、本県の主要施策である共生社会の実現等をサブテーマに設定することで、県が推進する施策を通じた県出展を行うこととしている。現在、これらのテーマに沿って屋外庭園や屋内展示施設の展示内容について検討を進めているが、県出展エリアでの展示内容や演出内容は県のシンボリック的存在であり、「GREEN×EXPO 2027」における県出展のイメージを大きく左右するものである。県では、屋外庭園や屋内展示施設において、どのような展示を行うことを考えているのか見解を伺う。

開幕まで500日を切り、県では県出展エリアの屋外庭園と屋内展示施設における展示準備を本格化させている。屋外庭園については庭園全体を県の形に見立ててレイアウトし、県内各地域の特色ある花や緑をエリアごとに植栽することで、豊かで美しい神奈川県土を表現したいと考えている。庭園では子ども達に自分が育てた花を植栽してもらうことや、作業しやすい高さの花壇を設置し、車椅子の方に花植え体験を行っていただく等、多様な主体に参加いただける取り組みを検討している。屋内展示施設では出展テーマを効果的に発信するため、映像を活用するとともに来場者の皆さまに楽しんでいただける体験型コンテンツを準備している。建物中央には着席型シアターを設置し、参加型演出も取り入れて「いのち輝く Vibrant INOCHI（バイブラント いのち）」を体感できる映像を来場者全員に視聴していただくことを考えている。県では「GREEN×EXPO 2027」の開幕に向け、「みんなで盛り上げ、みんなで創り、みんなが参加できる万博」を目指し、しっかりと準備を進めていく。



出典：神奈川県ホームページより

3

DV・ストーカー被害者など困難な問題を抱える方々への支援体制の強化について

質問

県知事

答弁

県は、令和7年10月1日に「DV・ストーカー対応強化特別チーム」を立ち上げ、被害者目線の支援策検討に取り組んでいる。11月開催の2回目シンポジウムでは、必要な情報や支援が届いていないことがうかがえ、積極的支援を行うための条例制定を求める提案もあった。DV・ストーカー被害者など困難な問題を抱える方々への支援を社会全体で進めるため、普遍的支援の仕組みを構築すべきである。DV・ストーカー被害者など困難な問題を抱える方々への支援体制強化のため、今後どのように取り組んでいくのか見解を伺う。

県は、緊急シンポジウムや関係機関との支援調整会議を通じて支援課題等を整理し、特別チームで様々な支援施策の検討を進めている。第2弾シンポジウムでは被害当事者の方から、「警察に相談しても気持ちが混乱してうまく状況を説明できなかった」「自分も悪かったのではないかと意思も揺れ動いてしまった」という声を直接伺い、弁護士や女性等の支援団体等から、「助けを求める声を待つのではなく支援側が積極的に動くことが重要」「事件を繰り返さないためには条例普遍的な決まりが必要」等の意見をいただいた。県は、DV・ストーカー被害者など困難な問題を抱える女性等を社会全体で支援していくための様々な方策を条例制定も含めて検討し、県議会や関係団体等と丁寧に意見交換を行い、当事者目線に立った支援体制強化に向け取り組んでいく。

要望

DV・ストーカー被害者など困難な問題を抱える方々への支援体制強化は、喫緊の課題である。本県では行政と警察の連携強化に取り組み、様々な施策を検討していくとのことだが、その取り組みにあたっては被害者目線に立つことが大変重要となる。社会全体で連携して支援を進めるためには、どういった仕組みが必要であるのか、条例を制定して終わりではなく普遍的仕組み、そういう視点も踏まえて引き続き取り組みを進めるよう要望する。



4

認知症施策の推進について

質問

県知事

答弁

「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」及び国の「認知症施策推進基本計画」では、新しい認知症観と認知症の方が自らの意思によって多様な主体と共に、共生社会を創り上げていくことの必要性が示されており、共生社会実現に向けて認知症に対する理解促進、地域での支え合いネットワークづくりや、市町村との連携による見守り体制整備が重要であるが、認知症に関する理解・浸透に向け今後の展開について見解を伺う。

県ではこれまで、市町村と連携して認知症を正しく理解し認知症の人やその家族を見守る「認知症サポーター養成」を進め、認知症未病改善に資する運動や機器等を体験する「認知症未病改善キャラバン」の全県展開を行っているが、理解・浸透に向けたさらなる取り組みが必要である。そこで県は、認知症当事者で構成する「かながわオレンジ大使」派遣と活動の充実や、市町村が行う認知症の人やその家族を地域で支える「チームオレンジ」活動応援のための研修を実施しながら家族会等とも連携して充実を図る。この他、若い世代への認知症の理解・浸透に向け、県立高校における認知症状をVR画像体験できる講座開催や、SNS媒体を活用した情報発信強化等に努めていく。

再質問

県知事

答弁

認知症の方が地域で安心して暮らしていくためには、周囲の理解に基づいた見守り体制や、権利擁護支援体制構築が必要であると考ええる。特に行方不明になる可能性のある方への支援については、広域的連携も必要であると考えながら、県では認知症の人が安心して暮らすことのできる地域づくりのために、どのような施策展開を検討しているのか伺う。

県は、認知症の人が行方不明になった場合に捜索を行う「認知症等行方不明SOSネットワーク」の運営を進めてきた。行方不明が発生した市町村からの広域捜索依頼を一旦県が受けてから他の市町村等にメール送信しているが、即時送信や夜間、閉庁日対応が難しいことが課題となっているため、今年度、市町村からの広域捜索依頼を夜間や閉庁日も含め、他の市町村等に即時一斉送信するシステム開発を行っており、より広域的連携体制強化を図っていく。



出典：神奈川県ホームページより

5

地域医療構想の最終年における総括について

質問

神奈川県地域医療構想は令和7年が最終年にあたるが、令和7年度中に国から新たな構想策定のガイドラインが示され、将来的に必要な病床数推計や地域に必要な医療機能等について、具体的な検討が行われる。本県は人口当たりの医師や看護師の数が少ない中、他県と比べて高齢化のスピードが速く、今後増加が見込まれる高齢者救急や在宅医療への対応等、いかにして持続可能な医療提供体制を構築するかが喫緊の課題である。現行の地域医療構想の終了が間近となる中、これまでの約10年間の取り組みの成果や、課題をどのように捉えているのか見解を伺う。

県知事

答弁

現在の地域医療構想は2016年度に開始し、これまでの10年間、市町村や関係団体等と連携しながら様々な取り組みを進めてきた。リハビリテーション等を行う病床不足に対し、整備や機能転換への支援を行い、こうした回復期病床は1.6倍に増え、約8,400床となっており、地域医療構想とほぼ同時に設置した「在宅医療トレーニングセンター」では、延べ3万人を超える方が実践的研修を受講した。医療従事者確保については、医学部や看護師養成校の定員増、修学資金貸し付け等もあり、県内の医師は1,800人増加して2万人を超え、看護職員も1万3千人増えて増加率は全国4位となっている。加えて県では、地域ごとに医療関係者と綿密な検討やワーキングを行い、コロナ禍において全国をリードする医療提供体制「神奈川モデル」を打ち出すことができたと考えている。一方2040年に向けては、さらに増加する高齢者の救急医療や在宅医療、人口が減少する中での医療従事者の安定的確保等、多くの課題がある。新たな地域医療構想は、来年度に策定作業を行うが、県ではこれまでの成果を活かして、こうした課題へも対応できるよう、しっかりと検討していく。



出典：Adobe Stockより

6

県立高校の体育館における空調整備について

質問

教育長

答弁

空調未整備となっている県立高校体育館対応は喫緊の課題であり、子どもたちから選ばれる県立高校となるためには教育環境として体育館空調整備が重要であり、災害に備えるためにも避難所としての環境を整えていく必要がある。子どもたちや県民の命と健康を守るため、必要予算を確保し体育館空調整備加速化に取り組むべきと考えるが、県教育委員会として今後どのように進めていくのか見解を伺う。

近年の猛暑を踏まえ、県教育委員会では県立高校体育館空調について新築や建替時に整備するという従来方針を転換し、避難所指定高校体育館から整備を始めることにした。初年度の今年度は、湘南、二宮、相模向陽館の体育館について、災害時にも稼働できる空調整備に向け設計を進めているが、高校体育館空調整備には小中学校と異なって国の補助がないという財政面の課題がある。体育館空調整備は、運動する生徒や災害時避難所となった際の県民の命や健康に関わる重要課題のため、引き続き着実な整備に向けて、しっかり取り組んでいく。

再質問

教育長

答弁

生徒の活動場所として空調が備えられていない体育館環境は、命に関わるほど深刻な状況であり、今後予定されている改修工事等あらゆる機会を捉えて、さらに整備を加速させる必要があると思うが見解を伺う。

県教育委員会では今後できるだけ整備を加速させられるよう、県債活用による財源確保や整備期間短縮が可能となるリース方式導入、今後の改修工事に併せた整備等、様々な可能性について検討していく。

要望

体育館空調整備は災害級酷暑から子どもたちや県民の命と健康を守るとともに、避難所機能を確保する観点からも喫緊の課題であると認識している。効率的で速やかな整備を図るため、リース方式導入や改修と併せた整備についても検討し、避難所とされている体育館にはLPガスを熱源として活用する等、災害に強い空調設備を整備することを併せて要望する。

その他、下記項目につきましても質問し、答弁をいただきました。

- 法人二税の超過課税を活用する事業の検討状況について(知事答弁)
- 中井やまゆり園の地方独立行政法人による運営への移行について(知事答弁)
- 県の人事制度の見直しについて(知事答弁)
- 職員の兼業推進について(知事答弁)
- 水防災戦略の改定について(知事答弁)
- 「かならいん」における民間活力の活用について(知事答弁)

- 警察庁の方針を踏まえた神奈川県警察交番等整備基本計画の今後の取り組みについて(警察本部長答弁)
- 加齢性難聴の高齢者の補聴器購入への支援について(知事答弁)
- 「こども誰でも通園制度」を踏まえた保育士の確保対策について(知事答弁)
- 神奈川県立県民ホール本館の再整備について(知事答弁)
- 公立小・中学校における不登校の児童・生徒への支援について(教育長答弁)
- 教員の働き方改革について(教育長答弁)

インターネット中継(録画)

網嶋洋一 代表質問動画



神奈川県議会



プロフィール | Profile

網嶋洋一 事務所

〒252-1121 神奈川県綾瀬市小園959-1 TEL:0467-78-7272 FAX:0467-78-7141



1967年(昭和42年)6月15日生まれ

綾瀬市立北の台小学校、北の台中学校、神奈川県立厚木東高等学校、コロラド州立レッドロックスコミュニティカレッジ卒

綾瀬市議会議員(平成15年より3期12年)

綾瀬市議会議長(平成24年)

神奈川県議会議員(平成27年～現在3期目)

【現在】防災警察常任委員長

facebook



公式HP



キリトリ

つなしま洋一
早春のつどい
受付票

ご記入いただき、ご来場の際に
受付へご提出ください

お名前：

ご住所：

電話番号：

